

#### (4) 第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策 (令和7年度)

##### 1 概要

施設名	吹田市資源リサイクルセンター	所管部室課名	環境部環境政策室
実施日時	令和7年10月28日(火) 午後1時~午後2時15分 令和7年11月25日(火) 午前10時~午後0時 令和7年12月16日(火) 午後3時~午後4時	実施場所	吹田市資源リサイクルセンター 講義室2 吹田市役所 災害対策本部会議室 吹田市役所 リエゾンルーム

##### 2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	廃棄物削減に向けた新しい潮流も的確にとらえて、新規事業にも積極的に取り組むことに期待します。	これまで最新の動向を踏まえ、マイ食器の啓発に向けた取組(クラウドファンディングへの挑戦)や、くるくるサロンの開催などの新規事業を実施してきました。くるくるサロンでは、主担研究員(大学教授等)の専門的知見に加え、近隣高校生との連携により発表の場としても活用されるなど、新たな広がりが生まれています。引き続き、食品ロス削減やリユース推進、脱炭素社会の実現に向けた取組など、廃棄物削減を取り巻く新たな動向を、主担研究員からの専門的知見の提供や企業との協働事業、フォーラム等における企業からの情報収集を通じて把握し、それを踏まえた事業展開を検討します。 また、他団体や教育機関との連携強化を図りながら、新規事業に取り組めます。	1 管理運営内容 (1)事業運営 ア 施設の設置目的に合致した主催事業(委託事業)を適切に実施している。 イ 施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。
2	各種媒体による宣伝やSNSの発信などのさらなる工夫により、現役世代に対して当該施設に関心を持ってもらえるよう取り組んでください。	広報については、これまでも市報すいたやホームページに加え、Instagram、Facebook、XのSNSを活用し、発信頻度の強化に取り組んできましたが、今後は、更に投稿内容の工夫(事業の意義や参加メリットの明確化、写真・動画の活用)や新たなSNSの活用を検討し、幅広い世代、特に現役世代へのより効果的な情報発信に取り組めます。また、開催時間帯の工夫や、他団体・企業との連携による新たな事業展開も検討し、関心層の拡大に努めます。	1 管理運営内容 (2)事業運営 ア 施設の設置目的に合致した主催事業(委託事業)を適切に実施している。 イ 施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。
3	昨今の物価高騰のなか、令和6年度は200万円を超える委託料を市に返還していることから、管理経費の削減に努めていると高く評価します。一方で、返還金を財源とした処遇改善や事業展開等、必要に応じて市とも協議のうえ、返還金の適切で効果的な用途について検討してください。	指定管理委託料は年度毎に清算する方式であり、予算編成段階では委託料全額を事業費及び人件費に充てる計画としています。現在は、返還金相当額で施設のセンスアップ事業に取り組んでいるところです。今後も引き続き、返還金の適切で効果的な用途につきましては、必要に応じて市とも協議のうえ、検討します。	1 管理運営内容 (2)経費縮減 ア 管理経費縮減に向けての努力がされている。

4	<p>施設の活動に関する啓発だけでなく、最新の環境問題をいち早く取り上げ、幅広い市民への啓発を目的とした情報発信を期待します。ホームページを活用した発信方法として動画は効果的ですが、それと併せて文書や図表を活用することも検討してください。取り上げるテーマも食品ロス削減やプラスチックごみ等の身近な環境問題だけでなく、廃棄物の減量とも関連した生物多様性や水資源、脱炭素に係るテーマも有効であると考えます。</p>	<p>これまでも環境啓発動画コンテスト受賞作品や環境学習発表会での発表動画等をホームページに公開してきましたが、今後は更にホームページにおいて動画による発信に加え、テーマごとの解説の掲載や、データを用いたグラフ・図表、フロー図等を活用し、視覚的にも理解しやすい情報提供を検討します。 また、専門的な内容についても、ポイントを整理した文章や図解を併用することで、幅広い市民にとって理解しやすい情報発信に努めます。</p>	<p>2 利用者満足度 (2)利用者サービス ア 利用者サービス向上及び利用促進を図るための取組を行っている。</p>
5	<p>地域に根ざした企業や専門家、学生や若手職員、市民研究員やプロボノ（スキルを持つボランティア）、元気なシニア等多様な関係者を巻き込んだユニークな情報発信やイベント等を期待します。</p>	<p>現在もエコラボパートナーズ（環境活動に取り組む市民や企業等との連携による協働事業）として、地域に根ざした団体や個人が活躍できる場の創出に取り組んでいるところですが、今後さらに地域内で知見や経験が循環する仕組みの構築に努めます。</p>	<p>2 利用者満足度 (3)利用者サービス イ 講座やイベントは利用者に満足できるものである。</p>
6	<p>施設の老朽化という課題は財団だけで解決できないとは思いますが、掲示物の整理をはじめ、努力を続け、市民に愛される施設となることを期待します。</p>	<p>施設の老朽化につきましては、市との協議のもと計画的な対応が必要と認識していますが、現在は施設セ恩斯アップ事業による施設の魅力向上につながる整備に取り組んでいるところです。 今後は更に利用者目線に立った改善に取り組みます。</p>	<p>2 利用者満足度 (3)利用者サービス ウ 利用者アンケート等、利用者ニーズの把握を行い、サービスの向上に向けて取り組んでいる。</p>
7	<p>HPやSNSの活用、パンフレットなどの発信内容は充実しており、広報面では前回の第三者評価の指摘事項を踏まえた大幅な改善が見られる点を評価します。しかし、情報に辿り着くまでの手段が限定的であるため、さらなるアクセス向上の取組が求められます。また、イベントの集客や参加者の増加を図り、当該施設のファンやSNSフォロワーの拡大を進めることを期待します。</p>	<p>これまでもホームページのトップページに「よくある質問（FAQ）」を設置するなど情報へのアクセス向上に取り組んできましたが、今後は、ホームページの構成見直しや検索性の向上、SNSの定期的な分析と発信内容の改善、QRコードの活用による情報導線の強化等に取り組む、更なるアクセス向上を図ります。 また、ターゲットを意識したイベント企画や関係団体との連携発信を進め、参加者およびSNSフォロワーの拡大に努めます。</p>	<p>2 利用者満足度 (2)利用者サービス エ 施設の利用案内や事業の開催案内をパンフレットやホームページ等により、適切に行っている。</p>
8	<p>財務状況については健全であるものの、従業員の高齢化や待遇面等に課題が残ります。</p>	<p>人件費につきましては、これまでの組織運営の経緯を踏まえた給与体系となっており、指定管理料の範囲内で運営していることから、人員削減以外に大幅な処遇改善を図ることは容易ではない状況にあります。しかし、現在は公募により人材を募集していますが、安定的で質の高い施設運営のため、多様な世代の確保・育成は不可欠であり、職員の処遇改善は必要と考えます。 今後は自主財源の確保に努めながら一部人件費を自主財源で賄う体制に移行することを含め、職員の処遇の改善について、必要に応じて市に説明を行いながら検討します。</p>	<p>3 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況 ア 施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能である。</p>

9	<p>基本財産の運用を物価上昇に比して利率の低い国債だけに頼るのはむしろリスクとなっており、多様な方法を検討する必要があると考えます。</p>	<p>基本財産の運用につきましては、（公財）千里リサイクルプラザ資金運用規則に基づき、安全性を最優先とし、円建て預貯金、元本保証特約付き円建て金銭信託、日本国債、特別の法律により元本が保証される債券等に限定して運用しています。また、金利動向や経済情勢の変化に応じ、有利な条件への買換え等を柔軟に行うことができるよう、満期保有を前提としない運用としています。</p> <p>現在は国債利率が上昇傾向にあり、超長期国債による運用は期間リスクを伴うものの、一定の収益を安定的に確保できる状況にあります。</p> <p>今後も満期保有を前提とした運用を行わず、金利動向や経済情勢を踏まえ、有利な条件のものへ買い換える方針とします。</p>	<p>3 サービス提供の継続性及び安定性  (1)指定管理者の財務状況  ア 団体本体の財務状況も健全であり、引き続き安定的かつ継続的な管理運営を行うことが可能である。</p>
10	<p>固定された利用者だけでなく、幅広い人たちが環境に関心を持ち、施設に訪れたいと思わせる情報を、様々な媒体を通じて宣伝、発信するよう取り組んでください。</p>	<p>これまで市報すいた、ホームページ、SNS等を通じて情報発信を行っておりますが、今後は媒体ごとの特性を活かしながら、内容や表現方法を工夫し、施設の魅力や取組の意義がより伝わる発信に努めます。</p>	<p>今後期待される点やその他特記事項</p>
11	<p>人材確保への対処を早期に検討してください。</p>	<p>人材確保には処遇面の改善は重要な要素の一つであり、かつ働きやすい職場環境の整備や人材育成の充実など、総合的な取組が必要であると考えています。事業の効率化や業務の見直しを進め、可能な範囲で人件費への充当できるよう努めます。</p> <p>なお、処遇改善については指定管理料の枠組みによる制約もあることから、財団の状況や必要性について整理し、市に説明を行いながら検討します。</p>	<p>今後期待される点やその他特記事項</p>
12	<p>長年同様の内容が行われている市民工房については、市民の意見も聞きながら、社会ニーズに応える更新に向けて、検討に取り組んでいただきたい。</p>	<p>市民工房で実施している利用者アンケートの内容を精査し、市民の声をよりの確に把握します。</p> <p>そのうえで、市民の声を積極的に取り入れ、社会的課題や地域ニーズを踏まえた内容へと更新できるよう、具体的な見直しを進めます。</p>	<p>今後期待される点やその他特記事項</p>